

狙いどおりの釣りを着実に進行しているヨッシー!



●新色のベイパーブル/ピンクグロ一エッジでタチウオを連発



★ヨッシーが愛用するジャッカルのアンチョビメタルは4タイプがある。それぞれの特徴は下記のとおり。TYPE-ZERO: フォール時は適度にヒラ打ちしながら沈み、ジャークでは強い波動でタチウオを誘う。TYPE-I: フォール時は素早く沈み、ジャークではジグが跳ねにくく直線的な動きになる。TYPE-II: ジャークではワイドな動きで誘い、フォール時はスライドでアピールする。TYPE-III: TYPE-Iよりもジグが跳ねにくくより直線的に泳ぐ。フォール時はイレギュラーに沈む



TSURI GACHI ツリガチ!

Vol.2 東京湾のタチウオ

文◎高橋 剛

★神出鬼没の気まぐれ魚、タチウオに向き合うとき、ヨッシーは常にガチだ。戦略を立て、状況を把握し、ジグを、テンヤを、迅速に交換する。「目まぐるしい」と言ってもいいぐらいの勢いでタチウオに挑むヨッシー。ドンピシャ狙いどおりにズドンと良型をヒットさせ、最高の笑顔を見せた。これがあるから面白い! これがあるからやめられない!

「ふっふっふ」と不敵な笑いを浮かべるヨッシー。実はベイパーブル/ピンクグロ一エッジという今年の新色は、ヨッシーが「迷ったときはまずこのカラーから」と、自らセレクトしたものののだ。

狙いどおりの組み立てにほくそ笑むヨッシー

「この時期のタチウオは産卵後まだまだ体力的には完全に回復しきっていないから、そんなに食い気は立っていないと思う。だからテンピン+エサだとなかなか難しいんだ。その点ジグなら『ちよつとつまんでみようかな』とやってきたタチウオを、高い確率でフッキングできるから有利。そして何かの拍子に食い気スイッチが入れば、まずまずリアクションで食ってくるよ。テンヤもエサ釣りに似ていて、基本的には止めて待つ釣り。その分、タチウオにも『ん?』と

のポイントに着き、釣りが始まってからも、佐野船長のいいいなアナウンスが続く。タナの取り方、誘い方、取り込みの注意事項まで、聞いているだけでも安心感があつて、モチベーションが上がる。「この時期のタチウオは産卵後まだまだ体力的には完全に回復しきっていないから、そんなに食い気は立っていないと思う。だからテンピン+エサだとなかなか難しいんだ。その点ジグなら『ちよつとつまんでみようかな』とやってきたタチウオを、高い確率でフッキングできるから有利。そして何かの拍子に食い気スイッチが入れば、まずまずリアクションで食ってくるよ。テンヤもエサ釣りに似ていて、基本的には止めて待つ釣り。その分、タチウオにも『ん?』と

これは、多少鼻が高くなっても仕方あるまい……。『シルエットが小さく見えるように配慮したカラーリングなんだ。マッチ・ザ・ベイトがハマったんだと思う。そしてTYPE-Iはフォールスピードが速

考えるだけの時間的な猶予ができてしまう。その分、食いが浅いんだ」

「これは、多少鼻が高くなっても仕方あるまい……。『シルエットが小さく見えるように配慮したカラーリングなんだ。マッチ・ザ・ベイトがハマったんだと思う。そしてTYPE-Iはフォールスピードが速

「状況調べてる感じでは、ほ



▲当日のルーアータチウオ船は満船の大盛況

「状況調べてる感じでは、ほ

「状況調べてる感じでは、ほ

今から約4億年前、魚は陸に上がった。1種類だけがいやいや、そんなはずはないだろう。色いかな魚が、それぞれの理由で、色いかな場所から陸に上がったはずだ。その中には当然、タチウオの祖先もいたろう(以下、科学的根拠のない強引な暴論です)。鋭いキバとよく見える目、しなやかに動く体、そしてどう猛で気まぐれな性格だったタチウオの祖先。陸に上がり、やがて哺乳類になった。鋭いキバ、よく見える目、しなやかな体、どう猛で気まぐれな性格をそのまま受け継いだ哺乳類。これはもう、どう考えても猫である。そう、タチウオは猫の祖先。海の中の猫なのである。……としか思えないほど、タチウオと猫には共通点が多い。タチウオも猫も、本当に気まぐれなのだ。さんざんタチウオを釣っているヨッシーでさえ、振り回されることはしょっちゅう。ネコジャラシで遊んでいたかと思ったら、プイといなくなってしまう猫と同じだ。だから、タチウオはいくら釣っても飽きることがない。「ドスンとリールを止めるパワフルな引き。そして食べてもお

いいこと。タチウオはとても魅力的なターゲットだ。でも一番惹かれるのは、猫みたいに気まぐれなところかな。一度の乗船の間でも、ココロとバターンが変わる。それを探り出すのが最高に楽しい」狙いどおりにタチウオを食わせることができれば、最高に楽しい。でもそれが次の釣行でうまくいくとは限らない。それどころか、次の投入ではもう様子が変わっていることさえある。目まぐるしいタチウオの変化は、まさに猫の瞳のよう。6月

午前7時15分ごろ、船が岸を離れた。ポイントに着くまでの間、佐野一也船長がこと細かく注意事項をアナウンスしてくれず16名で満船の賑わいを見せる船上にはルーアータチウオが初めて、という方もいたが、これなら安心だ。30分ほど走って第二海堡周

考える時間を与えないジグのアクション

「このところ、東京湾のタチウオは周年を通してグッドサイズが期待できる好ターゲットになっている。だが、そこはやはり猫的な気まぐれ魚である。ジグが釣れるときもあれば、テンピンでのエサ釣りに反応するとき、テンヤに食ってくるときなど、その時どきでどれが正解かがなかなか読めない。夏タチ本番を迎えつつあるこの時期は、どうやら動きに反応がいいようで、ジグ好調との事前情報を得ていた。

25日、東京湾奥金沢八景・太田屋の第七太田丸に乗り込んだヨッシーは、気まぐれなタチウオをうまく食わせることができるだろうか……? ぼジグだと思ふ。それでも一応、ね」と、テンヤの準備も怠らないヨッシー。気まぐれなタチウオを相手に、念には念を押している。午前7時15分ごろ、船が岸を離れた。ポイントに着くまでの間、佐野一也船長がこと細かく注意事項をアナウンスしてくれず16名で満船の賑わいを見せる船上にはルーアータチウオが初めて、という方もいたが、これなら安心だ。30分ほど走って第二海堡周



▲出船前、初めての方にレクチャーする佐野一也船長

当日のルアータチウオ船で見つけた 東京湾のタチウオで 〇〇しがちマシーン



ルアーが増えがち
▲カラーや重さ、タイプ別にそろえていくとルアーが増えていく

▶一つのルアーで2尾のサバをキャッチ

◀ドラゴンと呼ばれるだけにいい

▼タチウオが尻尾をかむところなる



サバを釣りがち!

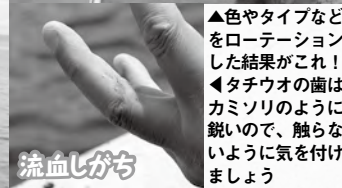


ドーナツ型になりがち

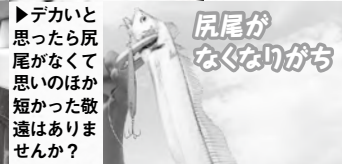
指幅を測りがち



ジグが散乱しがち



流血しがち



尻尾がなぐなりがち

指幅6本級をゲット!

▲色やタイプなどをローテーションした結果がこれ!
▲タチウオの歯はカミソリのように鋭いので、触らないように気を付けましょう

▶デカイと思ったら尻尾がなくて思いのほか短かった敬遠はありますか?



▲ルアーローテーションがハマったヨッシー

ビビりながらもネコジャラシに寄ってくる猫の姿が思い浮かぶ。タチウオと猫、やはり共通点が多すぎる。血が繋がっているのと思えない……。

「底から探っていったらアタリがあったから、その10メートル前後を誘ったんだ。食ったのは海面から50メートルだったよ」30分後に再びテンヤで1本を追加したヨッシー。

「数日前はテンヤにまったく食ってこなかったことを思えば、状況はだいぶ変わってきてるね。この後、ポイントによってはテンヤがジグを逆転するかもしれない。その兆しが見えたよ」納得できる成果が得られたヨッシーは、再びジグのタックルに持ち替え、次ぎにタチウオを抜き上げていく。終わってみれば、26本。不器用のカタマリとして有名なタカハシゴーも21本を釣り、太田屋の釣果情報には60〜117センチのタチウオが10

「加藤さんも言っていたけど、このゲーム性がたまらないよね。ホント、ネコジャラシでどうやって猫の気を惹くかと同じ。だからジャッカルのアナチヨビメタルのようにタイプ別でハッキリとキャラクターが分かれてるジグは、作戦を立てられるのが面白いよね。」

今日のタチウオは割と素直だったから、読みどおりの釣りができたのが気持ちいいな。タチウオってああ見えて意外と臆病なんだ。だからすぐにビツクリして逃げてしまうし、常にビビってるからミスバイトも多い。ジグを動かすときは、そのあたりを意識しておくといいよ」

意外とビビりなタチウオ どう猛な顔をしているのに

「加藤さんも言っていたけど、このゲーム性がたまらないよね。ホント、ネコジャラシでどうやって猫の気を惹くかと同じ。だからジャッカルのアナチヨビメタルのようにタイプ別でハッキリとキャラクターが分かれてるジグは、作戦を立てられるのが面白いよね。」

今日のタチウオは割と素直だったから、読みどおりの釣りができたのが気持ちいいな。タチウオってああ見えて意外と臆病なんだ。だからすぐにビツクリして逃げてしまうし、常にビビってるからミスバイトも多い。ジグを動かすときは、そのあたりを意識しておくといいよ」



●プロトのテンヤ40号でタチウオを立て続けに2本キャッチ

この後、ポイントによってはテンヤがジグを逆転するかもしれないな……



●プロトのタチウオテンヤロッドがブチ曲がる



▲ヘッドが交換できるプロトのタチウオテンヤ

【ヘッドの交換方法】①ストッパーを外す/②ブライヤーでラインアイをはさむ/③ヘッドをつかんで引くと外れる/④別色のヘッドを押し込み、ストッパーを押して完成

「加藤さんはブラックバス釣りをしていたが、「あんまり釣れないから面白くなくなっちゃって」と、今年に入ってからタチウオ釣りを始めたそうだ。「スギューンという圧倒的な引きが最高に面白いッス! ゲーム性も高く、ハマりますね。ジャッカルタチウオロッド、アナチヨビドライブエクスポート、買っちゃおうかな〜」

「度風の風が吹き荒れる。ヨッシーは、「そうか、バス釣りをしている人なのか」と、納得している様子だ。「道理で上手だと思った。おれがやるうと思ってることを先回りされちゃうんだよね(笑)。バサーは釣りのアイデアや引き出しをたくさん持っているんだよね。そして状況を見ながらのジグチェンジも早い。」

「加藤さんも言っていたけど、このゲーム性がたまらないよね。ホント、ネコジャラシでどうやって猫の気を惹くかと同じ。だからジャッカルのアナチヨビメタルのようにタイプ別でハッキリとキャラクターが分かれてるジグは、作戦を立てられるのが面白いよね。」

今日のタチウオは割と素直だったから、読みどおりの釣りができたのが気持ちいいな。タチウオってああ見えて意外と臆病なんだ。だからすぐにビツクリして逃げてしまうし、常にビビってるからミスバイトも多い。ジグを動かすときは、そのあたりを意識しておくといいよ」

「シゴーなどは、「こうなりやジグは何でもいんじやね?」と、ヨッシーのマネをしてTYPE・ZEROのまま。だがヨッシーはその先をいく。45分ほど経過したところで、今度はTYPE・IIにスイッチだ。「ちよっと様子見しようかな、と。このジグもアクションが大きいのに加えて、スライドフォールするんだ。どうかな……」

「動きはおとなしいからタチウオからの反応は得にくいけど、食ってくればデカイはず」というヨッシーの読みは、確かに当たっていた。

「加藤さんも言っていたけど、このゲーム性がたまらないよね。ホント、ネコジャラシでどうやって猫の気を惹くかと同じ。だからジャッカルのアナチヨビメタルのようにタイプ別でハッキリとキャラクターが分かれてるジグは、作戦を立てられるのが面白いよね。」

今日のタチウオは割と素直だったから、読みどおりの釣りができたのが気持ちいいな。タチウオってああ見えて意外と臆病なんだ。だからすぐにビツクリして逃げてしまうし、常にビビってるからミスバイトも多い。ジグを動かすときは、そのあたりを意識しておくといいよ」



●良型を釣り上げる加藤さん